

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【公開番号】特開 2002-354784 (P2002-354784A)

【公開日】平成 14 年 12 月 6 日 (2002.12.6)

【出願番号】特願 2002-35553 (P2002-35553)

【国際特許分類 第 7 版】

H 0 2 M 3/155

G 0 9 G 3/20

G 0 9 G 3/28

H 0 3 K 17/00

H 0 3 K 17/16

H 0 3 K 17/687

H 0 4 N 5/66

【F I】

H 0 2 M 3/155 G

H 0 2 M 3/155 Q

G 0 9 G 3/20 6 1 1 C

G 0 9 G 3/20 6 2 1 G

H 0 3 K 17/00 M

H 0 3 K 17/16 H

H 0 4 N 5/66 1 0 1 B

H 0 3 K 17/687 A

G 0 9 G 3/28 J

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 19 日 (2003.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電圧源に接続されるトランジスタと、前記トランジスタに接続される第 1 の配線手段と、前記トランジスタのソース・ドレイン間に並列に接続される第 1 の周波数低減手段とを備え、

前記トランジスタおよび前記第 1 の配線手段を介して表示パネルの電極に前記電圧源の電圧を印加する構成とした駆動回路。

【請求項 2】

電圧源に接続されるダイオードと、前記ダイオードに接続される第 2 の配線手段と、前記ダイオードに並列に接続される第 2 の周波数低減手段とを備え、

前記ダイオードおよび前記第 2 の配線手段を介して表示パネルの電極の電位を前記電圧源の電位以下にする請求項 1 記載の駆動回路。

【請求項 3】

接地端子に接続されるトランジスタと、前記トランジスタに接続される第 1 の配線手段と、前記トランジスタのソース・ドレイン間に並列に接続される第 1 の周波数低減手段とを備え、

前記トランジスタおよび前記第 1 の配線手段を介して表示パネルの電極の電位を接地電位

にする構成とした駆動回路。

【請求項 4】

接地端子に接続されるダイオードと、前記ダイオードに接続される第 2 の配線手段と、前記ダイオードに並列に接続される第 2 の周波数低減手段とを備え、前記ダイオードおよび前記第 2 の配線手段を介して前記表示パネルの電極の電位を接地電位以下にする請求項 3 記載の駆動回路。

【請求項 5】

周波数低減手段は容量性素子を含む構成とした請求項 1 ～ 請求項 4 のいずれかに記載の駆動回路。

【請求項 6】

表示パネルと、前記表示パネルの電極を駆動する請求項 1 ～ 請求項 5 のいずれかに記載の駆動回路とを備えた表示装置。